



神奈川県労働者福祉協議会・神奈川県生活協同組合連合会 共催企画

## 2023年福祉セミナーを開催

2024年は医療と介護のダブル制度改正が実施される年ですが、今回の制度改正は社会保障制度の持続可能性を高めることを理由に制度自体の大きな見直しが見込まれているため、情報をいち早く把握して準備に取り掛かることが重要になっています。

社会保障審議会で議論された内容と改定のポイント、生協らしく取り組んでいくために大切にすすめることは何かを学び事業に生かすことを目的に開催しました。



■ 日 時 / 2023年2月18日(土) 13:30~15:30

■ テーマ / 2024年介護保険制度改定のポイント

～生協らしく取り組むために大切にしたいこと～

■ 内 容 / 12団体 87会場 106名参加

パルシステム神奈川、ユーコープ、医療生協かながわ、神奈川みなみ医療生協、川崎医療生協、神奈川高齢者生協、生活クラブ生協、富士フィルム生協、福祉クラブ生協、全国コープ福祉事業連帯機構、神奈川県労働者福祉協議会、神奈川県生活協同組合連合会

■ 講 師 / 一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構 常務理事 山際 淳氏

■ 司 会 / 神奈川県生協連福祉事業連絡会委員 土方 幸恵 (福祉クラブ生協)

■ 次 第 / \* 主催者挨拶 神奈川県労働者福祉協議会会長 吉坂 義正

\* 講演

1. 今後の環境変化と2024年介護保険制度改定について
2. 生協の政策提言・大切にしたいこと
3. 今後の具体的な取り組みについて

\* 質疑応答

\* 閉会挨拶 神奈川県生協連福祉事業連絡会座長 鈴木 忠 (ユーコープ)

### 感想 参加者アンケートより一部紹介 (原文ママ)

- ・ 今後の人口動態から考えられる介護分野の動きを細かく説明頂け、2024年、2027年に向けての準備が非常に重要であることが認識する事が出来ました。
- ・ 生産年齢人口が急減していく中で、如何にICTを活用して効率的に動ける事業体に変化していけるかが、今後の課題と感じました。
- ・ 複合型という通所と訪問を一体化した事業が検討されているのを知りました。たしかに泊りは必要ないケースもありますので、いいかもしれません。
- ・ 分かりやすいお話でした。次の改定までの自分たちの動きが理解できました。生協は組織として動けるので、現場での要望などが形になり伝えられるので良いと思いました。
- ・ 今回の改定を含めて、今後の介護保険制度の改定の方向性が理解できたような気がします。ありがとうございました。
- ・ 他の団体の活動内容を知ることができ、参考にしたいところがあった。同じような課題があることもわかった。

# 2023年神奈川県消費者のつどいを開催

テーマ 私たちの食と暮らしを考える～知らなかったと泣く前に～

今回は、「私たちの食と暮らしを考える～知らなかったと泣く前に～」をテーマに開催しました。全体会では「日本の食と農が危ない」と題しての基調講演、続いて「県内の生産者の取組」についての事例報告をいただき、安全・安心な食を次の世代につないでいくために何が必要かを一緒に考えました。午後からは2つの分科会を企画し、消費者として日常生活の中にある「知らなかった」を学びました。

神奈川県消費者のつどいは1974年以来、県内消費者の「学び」「交流」「発信」の場として開催してきました。今年は実行委員会11団体、協賛18団体の協力により開催することができました。

- 日時／2023年2月28日(火) 10:00～15:15
- 開催方法／オンライン(ZOOM使用)と実参加の併用開催
- 会場／オルタナティブ生活館
- 主催／2023年消費者のつどい実行委員会(荒川美作保実行委員長)
- 参加者／240名(オンライン・会場参加の合計)

## 内容／ 全体会

司会：山崎 初美さん(コンシューマーズかながわ)  
 実行委員長挨拶：荒川 美作保さん(パルシステム神奈川)  
 来賓挨拶：石渡 勝志様(神奈川県暮らし安全防災局消費生活課副課長)  
 基調講演：鈴木 宣弘先生(東京大学大学院農学生命科学研究科)  
 事例報告：飯草 英雄氏(県農協青壮年部協議会)

## 分科会

### 分科会1

テーマ：「知って安心!葬儀・お墓を考える」～トラブルを防ぐために～  
 講師：佐々木 悦子さん (一社)日本エンディングサポート協会理事長

### 分科会2

テーマ：「地球とのフェアトレード」～世界に優しく、地域に楽しく、未来に美しく～  
 講師：原田 さとみさん エシカル・ペネロープ株式会社代表取締役



## ■ 実行委員会団体(11団体)

神奈川県建設労働組合連合会主婦協議会、神奈川県公団住宅自治会協議会、神奈川県母親大会連絡会、コンシューマーズかながわ、新日本婦人の会神奈川県本部、生活協同組合ユーコープかながわ県本部、生活協同組合パルシステム神奈川、NPO法人消費者支援かながわ、ワーカーズコープセンター事業団神奈川事業本部、神奈川県生活協同組合連合会、神奈川県消費者団体連絡会

## ■ 後援

神奈川県、横浜市経済局、川崎市、相模原市、食料安全保障推進財団



## 神奈川県生協連と川崎市生協運営協議会

# 川崎市と大規模災害に関する懇談会を開催

大規模な災害が発生した際に一刻もはやい市民生活安定のために、神奈川県生協連では川崎市内で事業を行っている生協と川崎市生協運営協議会によびかけ、川崎市と災害に関する懇談を行いました。



- 日時／2023年2月10日(金) 13:30～15:00
- 会場／川崎市役所第3庁舎7階 災害対策本部室
- 参加／川崎市危機管理本部より郷野企画担当課長、森計画担当課長、青柳危機対策担当課長、木村訓練担当課長補佐、川崎市経済労働局消費者行政センターより前田啓発係長、瀧企画担当、生協より五月女総務課長・ユーコープ、目黒総務部リーダー・生活クラブ生協、中山総務課長・パルシステム神奈川、川崎市生協運営協議会より市川幹事・かわさき生活クラブ生協、杉山事務局・パルシステム神奈川、県生協連より相田事務局
- 内容／川崎市危機管理本部職員の皆さんから①防災士と連携をはじめた報告、②災害時支援物資受援体制の検討について、③防災協力事業所を増やす取り組み報告、④令和4年度川崎市総合防災訓練内容の報告をいただき、生協の事業・活動を通じて連携した取り組みができないか意見交換がされました。



## ボランティア活動による健康増進の効果とポイント

フレイルへの対策には栄養・運動・社会参加が三本柱となりますが、社会参加を具体的に見てみると外出・交流・活動の三段階が存在します。このうち“活動”の研究について着目すると、ボランティア活動はフレイル対策以上に健康寿命の延伸にも寄与する事が報告されています。

ボランティア活動による健康への効果を取りまとめた研究では、高齢期のボランティア活動の実践によって身体機能（歩行機能の向上等）、メンタルヘルス（抑うつ心の減少、幸福感の増加等）、認知機能（認知症予防に寄与）などに好影響がみられる事が明らかになっています。背景には大まかに言って2つの要因が考えられます。

1つには、ボランティア活動に取り組む事で自然と外出が増え、身体や頭を使う機会にも恵まれるために心身機能が低下しづらくなる事が期待されます。背景要因のもう1つは、ボランティア活動は低下に備えた“貯え”を生むという事です。脳も含めて心身機能は使うほどに鍛えられ、成長する事が期待できます。もちろん疲労があれば一時的に機能は低下しますが、その疲労が回復した時には前よりも機能が高まっている事が想像できると思います。日々ウォーキングを続ける事で一度に歩くことができる距離が2Km、3Kmと増えていくようなイメージです。お金は使う事で減少し、使わない事で貯まっていきます

が、身体の機能はこれとは真逆で使うほどに増え、使わないほどに減少していくというわけです。ボランティア活動にも様々なものがありますが、多くの場合で活動の受け手が存在し、責任も伴うような高度な活動である事が多いと思います。このようなボランティア活動は苦労や大変さがありますが、だからこそ心身機能の蓄えを生むような豊富な刺激が含まれていると考えられます。

地域の高齢世代の方がボランティア活動を実践する事は、社会貢献・地域貢献を果たしてもらいつつ本人の心身・認知・生活機能の維持にも寄与する一石二鳥の取組となります。しかし、ボランティア活動による健康への効果にはモチベーションが重要であると指摘する研究もあります。いかに良い活動でも本人にやる気が無ければ二兎を追う者は一兎をも得ずという事になりかねません。急にボランティア活動に取り組んだり推奨したりするのではなく、例えば、ご自身が持っている技術（料理や工作、歴史や時事問題に詳しい等）を生かすなど、やりがいを刺激する形で活動を開始して頂くと良いと思います。

東京都健康長寿医療センター研究所  
鈴木 宏幸先生



## かながわCo-ネット福祉健康委員会 2022年度地区委員交流会を開催

かながわCo-ネット福祉健康委員会は、4つの地区委員会（横浜・川崎地区委員会、湘南地区委員会、県央地区委員会、西湘地区委員会）が一緒になって、「福祉」「健康」に関するテーマの学習と交流を年1回行っています。

今年は地区委員会ごとにサテライト会場を設けてオンラインで学習会を行いました。ささやかではありますが学習を受けての感想を地区委員会ごとに意見交流する時間をとり、発表を通じて共有しました。

■ 日 時 / 2023年1月27日(金) 13:30~15:00

■ 全体の司会 / 木船 有裕 (福祉健康委員会県推進委員会委員・JA神奈川県中央会)

■ 内 容 /

開会挨拶：渡邊 敬弓 (福祉健康委員会県推進委員会委員長・ユーコープ)

学 習：腸活で健活 ~お酢も使ってさらにパワーアップ!~

JA神奈川県厚生連 保険福祉センター 副部長 横瀬 富美子さん

発 表：西湘地区委員会 里見 里奈さん(ユーコープ)、湘南地区委員会 中島 洋子さん(パルシステム神奈川)、横浜川崎地区委員会 井上 絵美さん(ユーコープ)、県央地区委員会第1会場 大谷 八重子さん(JA相模原市)、県央地区委員会第2会場 小山 いずみさん(JAあつぎ)

閉会挨拶：佐藤 有美子 (福祉健康委員会県推進委員会委員・パルシステム神奈川)



## 消費者支援かながわシンポジウム 開催

その契約、守らなくちゃいけないの? ~知って得する消費者契約法~



2月4日、消費者支援かながわ主催で、「その契約、守らなくちゃいけないの?~知って得する消費者契約法~」をテーマにシンポジウムを開催しました。さまざまな商品の購入やサービスの利用に際しては、契約書や利用規約の内容を確認することが大切ですが、中にはおかしな条項もあって、必ずしも守らなければいけないということはありません。今回のシンポジウムでは、洋服のレンタルサービスやダイエットサブリの定期購入の事例などを紹介しながら、消費者契約法によってどのように消費者が守られているのかについてお話しいただきました。また、適格消費者団体は、消費者にとって一方的に不利と思われる契約書の条項や広告表示等について、法律違反があると考えられる場合にそれらの改善を求める活動をしていることも紹介いただきました。

- 日 時 / 2023年2月4日(土) 13:30~16:00
- 会 場 / 神奈川県司法書士会館・オンラインのハイブリッド開催
- 基調講演 / 拝師 徳彦さん(弁護士)



## やまゆり生活協同組合 創立40周年記念式典が開催されました



このたび、やまゆり生活協同組合は創立40周年を迎えました。これに伴い、3月12日(日)に寒川神社参集殿(寒川町)にて『創立40周年記念式典』を役員・組合員・関係者ら総勢約40名で執り行いました。式典では二戸理事長の挨拶、永年勤続職員や功労組合員などの表彰があり、最後に記念動画の上映でこれまでの歩みを振り返りました。

次の世代へ向けてやまゆり生協は、これまでの活動で培った取り組みや繋がりを活用し、40周年という節目を機に、更なる「おいしく、たのしく、こちよく。」を邁進することで、これまでのご愛顧にお応えして参ります。



## 2022年度 第5回理事会報告

- 日時 2023年1月17日(火) 14:00~16:00
- 会場 オルタナティブ生活館 301会議室 (ハイブリット開催)

### [議決事項]

1. 2023年度神奈川県生協連年間日程について
2. 神奈川県生協連第72回通常総会の開催について
3. 神奈川県生協連2023年度予算編成方針と審議の進め方

### [協議事項]

1. 2022年度活動のまとめと次年度方針(骨子案)
2. 県政要望の取り組みの進め方について

議決事項について全員異議なく可決承認されました。